

2025 年度 市民自然観察会「街中ジオ散歩」のご案内

—豊平川扇状地の「サッポロ川」の痕跡をたどる—

【主催：一般社団法人 北海道自然保護協会・「地質の日」記念行事実行委員会
協賛：一般社団法人 北海道地質調査業協会 協力：一般財団法人 山の手博物館】

札幌の街は、母なる川豊平川の 1 万年以上前からの営みによりできた大地（豊平川扇状地）に位置しています。「街中ジオ散歩」では、市民の皆さんとともに豊平川扇状地を作った古い河川「サッポロ川」の痕跡をたどり、札幌の生い立ちを探ります。

今年度は以下の要領で 3 回開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

- ・第1回目 2025 年 6 月 7 日(土) 「三角山」—大倉山展望台と三角山採石場跡地—(終了しました)
- ・第2回目 2025 年 8 月 2 日(土) 「中島公園」—古サッポロ川と名残川—
- ・第3回目 2025 年 10 月 4 日(土) 「サッポロ川の河川争奪とフシコ川」

集合・解散時間：各回とも、集合は午前 10 時、解散は午後 3 時。

定員：20 名(申し込み順) 昼食・飲料持参。

雨天の対応：小雨時は実施します。小雨の場合は、傘・雨靴・敷物などを用意してください。

中止の場合は、当日午前 7～8 時に電話連絡します。

参加費：各回 2,000 円（保険代・資料代を含む）、北海道自然保護協会会員は 1,000 円

申込先：北海道自然保護協会 事務所

電話 011-876-8546、メール info@nc-hokkaido.or.jp

申込受付：受付は1ヶ月前から 実施日3日前まで。氏名・年齢・性別・住所・連絡先を添えて、上記にお申し込みください。

感染対策に留意願います。当日朝は各自で体温をチェックし、発熱時は参加自粛をお願いします。

第 2 回「中島公園」—古サッポロ川と名残川—

期 日：8 月 2 日(土)10:00～15:00 集合：午前 10 時 地下鉄南北線「幌平橋駅」(出入口 2)

内 容：中島公園は、豊平川扇状地を造った古サッポロ川の流路跡です。

古サッポロ川は 2,000 年ほど前にサッポロ川(現在の豊平川)へ流路が変わり、古サッポロ川の扇状地には名残川が流れ始めました。それが鴨々川の始まりです。ジオ散歩では、パークホテルや伊夜日子神社付近に残る古い河川地形を見学します。鴨々川沿いの川岸には豊平川上流域に分布する岩石が円礫となって散らばっています。これは古サッポロ川が中島公園を流れていた証拠です。豊平川から鴨々川への分流口、豊平川河床に堆積した円礫、堤防により住宅地となった豊平川の川跡などを観察します。公園内の石碑や様々な構造物の石材、豊かな樹木、河畔の植物の特徴も紹介します。



中島公園南 14 条橋からみた古サッポロ川河床跡と鴨々川流路。



サッポロ川西岸の岸辺(川幅は 300m ほど)。中央中学校付近の東 4 丁目からみた北 4 条東 3 丁目の低地と左岸側河岸地形。



ハルニレ



ヤチダモ



パークホテル正面駐車場北側の珪化木

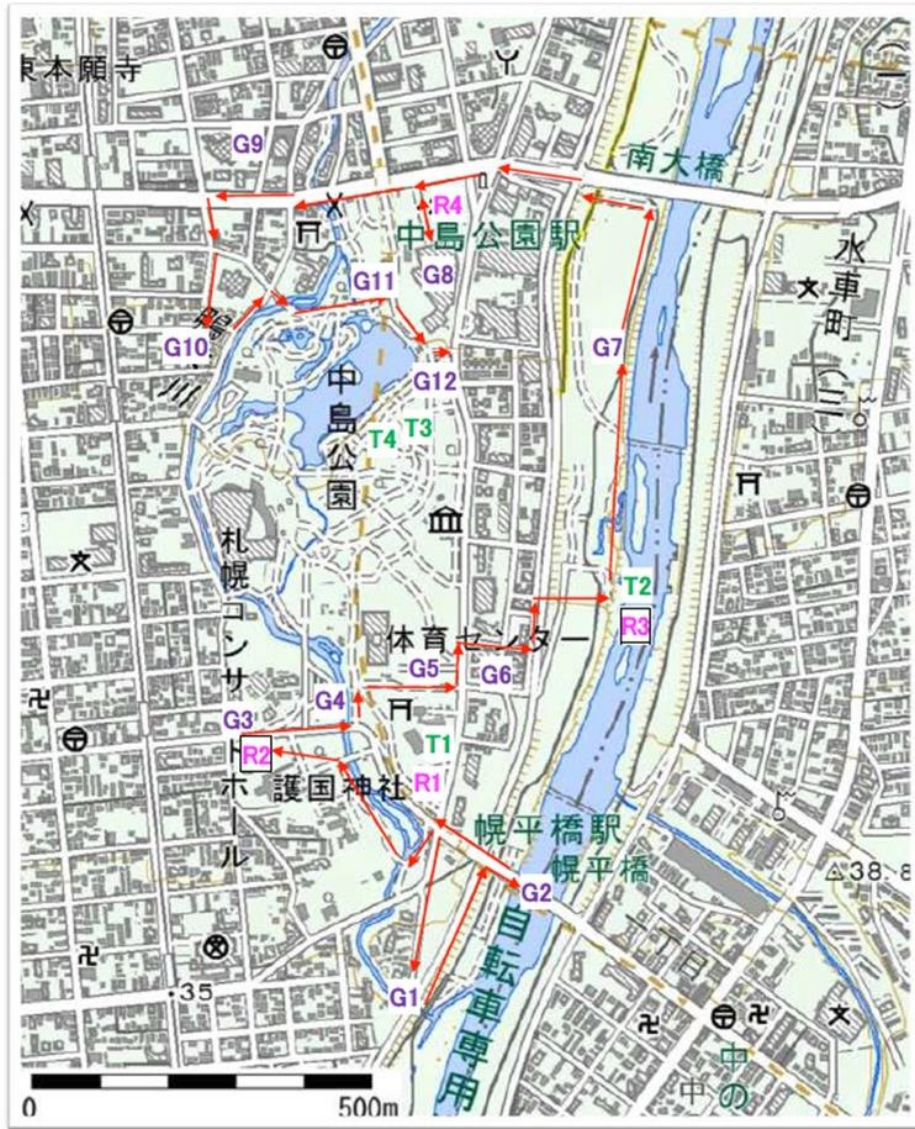


サッポロ川西岸の微高地に建つ大正初年の遠友夜学校の校舎(北海道大学附属図書館蔵)

扇状地の名残りの代表樹

中島公園見学ルート(案)

→: 見学ルート、G1～G12: 川(地形・地質)、R1～R4: 石、T1～T4: 樹



川の案内人: 宮坂省吾(株式会社アイピー 地質情報室)

石の案内人: 内山幸二(地図と鉱石の山の手博物館)

樹の案内人: 矢部和夫(札幌市立大学)

第3回「サッポロ川の河川争奪とフシコ川」

期 日: 10月4日(土)

「フシコ川」の内容: フシコ川は西暦 1801 年頃まで流れていたサッポロ川の名残川です。ジオ散歩では、サッポロ川を利用した用水「大友堀」の川跡とフシコ川への落し口(大友公園)を訪ねます。サッポロ川上流側の法国寺前と対岸にある北 13 条北郷通沿いの河岸跡、苗穂小学校から大覚寺までの河川低地を歩きます。ツイシカリ・アイヌが住んでいたフシコ川北岸が微高地(自然堤防)となっていることを紹介します。札幌市の保存樹となっている大覚寺のヤチダモ・イチョウ・シダレヤナギを観察します。サッポロビール園の庭園の樹木、レンガ造建造物を解説します。

「サッポロ川の河川争奪」の内容: 今から 2,000 年ほど前に豊平川から伏籠川に流れる川ができ、サッポロペツ(サッポロ川)と呼ばれました。西暦 1801 年頃にサッポロ川は流路を再び変え、東へ流れる新しいサッポロ川となりました。これは「河川争奪」と呼ばれる大事件で、東を流れていたツイシカリ川を併合しました。その結果、新しいサッポロ川は成長し開拓使により「豊平川」と改称されました。ジオ散歩では、新渡戸稲造記念公園からサッポロ川(旧豊平川分流)の西岸沿いを歩きます。中央小学校裏のクランク道路は新しいサッポロ川の北岸にあたり、その先は自然堤防、この一帯が河川争奪の現場だったのです。220 年前まで北へ流れていた幅 400m ほどのサッポロ川の東岸が北 1 条教会の前で確認できます。

なお、当コースの順路は現在検討中で、観察箇所や解説内容が変更される場合がありますのでご了承ください。

見学コース(案):

期 日: 8月2日(土) 10:00～15:00

【起点】地下鉄「幌平橋駅」(出入口2)

<午前の部>

G1(鴨々川の分流口) → G2(幌平橋のパラピウカ) → R1(中島公園の石垣) → R2(護国神社の石碑) → G3(古サッポロ川西岸の坂、米里行啓通西5丁目) → G4(古サッポロ川と鴨々川) → G5(古サッポロ川東岸の自然堤防) → T1(ハルニレの大樹) → G6(豊平川の旧流路、胡蝶園の池) → R3(豊平川河原の石、砂州と礫のインプリケーション) → T2(河原の草木)

<午後の部>

G7(1981(昭和56)年洪水跡、南大橋上流) → G8(古サッポロ川自然堤防に立つパークホテル) → R4(パークホテルの珪化木) → G9(古サッポロ川西岸の坂、南9条西5丁目) → G10(アンの家付近の微高地) → G11(中島公園入口の下り坂) → G12(菖蒲池の東は自然堤防) → T3(ハルニレの切株) → T4(並び立つミズナラ・コナラ)

【終点】地下鉄「中島公園駅」 15:00

なお、コースの状況に応じて、順路や観察箇所が変更になることがありますので、ご了承ください。